

Title	星涼し
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1942), 22(256): 327-327
Issue Date	1942-09-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/168445
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

α Roburis (座座ア星) と呼んだが、後に之は β 星と呼び換へられて龍骨座に入れられた。

Sceptrum 王笏

第十七世紀、ヘベリウスが“白鳥座”と“アンドロメダ座”との間に“蜥蜴座”を作つた以前に、フランスのロワイエはルイ第十四世王のために“王笏”と呼ぶ星座を作つた。位置はアンドロメダ座の北西部で、オミ星、イ星、カ星、ラ星及び3番星、7番星等を含み、ひろさは東西も南北も共に 10° ぐらゐ、四等級の星を5ヶも含んで、可なりよく目立つ星座である。

ところが、之れは、第十八世紀の末になつて、ドイツの天文家ボーデが、此の星座を取り消し、其の代りに“フレデリキ大王”といふ新星座を置いた。(その條を見られよ。)こうして、ドイツとフランスとは、天上に於いても、領土の奪ひ合ひをしてゐるのである。

Sceptrum Brandenburgicum ブランデンブルグ王笏

第十七世紀の末、ドイツのプロイセンの天文家ゴドフリード・キルヒは、其の國王のために“ブランデンブルグ王笏”といふ新星座を、“エリダン河”と“兎”との間に作つた。之れが、しかし危ふく學界から忘れられんとしたので、第十八世紀の末、ボーデは再び此の星座を星圖に發表して、抹殺を防いだ。位置は、今のエリダン座の53番星と54番星とを南北につなぐ線を、ヌ星あたりまで、北方へ延ばしたもので、割り合ひに見易い星座である。尤も星は4等星が2ヶ、他は皆5~6等級の、微光のものばかりであるから、月の明るい夜には見えない。冬の夜の見ものである。(天界94號口繪を見られよ。)

Solarium 日時計

この星座は、初冬の夕暮れの南天に見えるエリダン河の南にあつて、其の位置は水蛇座と旗魚座との中間の淋しい天空を占めてゐる。作者は知られてゐないが、第十九世紀の中頃のブリト Burritt の書物には記されてある。(つゞく)

星 涼 し

北斗冴え北斗冴えくる澄むちゝる	か ず を
猿星も落葉の音を感じてゐる	青 史
星ひかり大根の地熱感じるる	嶺 子
月ありて流星細し秋の風	秋 甫
秋のオリオン蕃人踊もしまひなる	佳 山
星涼し牛車のきしりはろかより	芳 仲
獨學を擔ひ北斗の窓邊にゐる	宗 男
星屑とび軍犬の瞳のあをき光	郷 盛